

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	減圧症の CT 画像所見と臨床所見の関連に関する後ろ向き観察研究 (26-2700-00-00-00)
当院の研究責任者 (所属)	土屋 奈々絵 (琉球大学病院放射線科)
他の研究機関および 各機関の担当者	診療情報提供元機関：沖縄県南部徳洲会病院 (担当者：平安名常一)
本研究の目的	減圧症患者の CT 画像を解析し、体内における気泡の分布傾向と臨床所見との関係を明らかにすることである。それにより、急性期の重症度評価の客観的指標となる可能性や慢性期合併症 (特に減圧性骨壊死 Dysbaric Osteonecrosis DON) の早期予測や予防に繋がる可能性がある。
研究実施期間	2026 年 7 月 2 日～2029 年 12 月 31 日
調査データ(該当期間)	2001 年 12 月～2025 年 12 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2001 年 12 月～2025 年 12 月までに琉球大学病院にて減圧症と診断され CT を撮影された患者様 ●利用する試料・情報 ①基本情報：年齢、性別、発症日時、画像日時、発症～画像撮影までの時間、来院時バイタルサイン (GCS、呼吸数、SpO2、心拍数、血圧、体温)、症状、HBO 有無、転帰 (入院 or 帰宅)、症状消失までの日数 ②減圧症リスク因子： A-①寝不足、疲労、ストレス、②脱水 (飲水不足)、③ 潜水前の飲酒、④肥満 (BMI25<)、身長、体重、BMI、⑤高齢 (65 歳<)、⑥病気やけが (既往歴)、⑦減圧停止を必要とする潜水、⑧繰り返しの潜水、⑨潜水前、中、後の過度の運動、⑩冷水での潜水 (発症年月日)、⑪潜水後の飛行や山越え、⑫高地での潜水 B-①減圧をスキップする、②急速浮上、③潜水後の高所への移動、④深度 40m 以上の潜水、実際の深度、⑤ 1 日 3 回の潜水、実際の回数、⑥深度 30m 以上の再潜水、実際の再深度、⑦DCS の罹患、過去の DCS 罹患数 ③画像評価：検査日、スライス厚、画質、撮影部位、撮影機種、単純/造影 ④画像解析：CT での気泡分布の評価 実質臓器 (脳、肝、脾、腎、腸管)、気胸、縦隔気腫、動脈、門脈、静脈、骨、関節：気泡の有無、気泡があった場合は具体的な部位

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードでロックをかけたハードディスクで行います。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります、その場合は、再度倫理委員会へ申請し、研究機関の長の許可を得てから行います。
個人情報の取り扱い	本研究で使用する情報は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、放射線診断治療学講座医局で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。 ◇本学での対応表の管理方法 琉球大学病院放射線科 飯田行が、琉球大学病院電子カルテ内の個人フォルダ内で管理する。 ◇診療情報提供元機関機関の対応表の管理方法 各機関の管理責任者が保管し、機関の間で対応表の授受は行わない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金源は放射線診断治療学講座への寄附金になります。本研究に関する利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	電話：098-894-1426 担当者：琉球大学病院 放射線科 土屋奈々絵
備考	